

『伝道者が起こされるための祈りを』

吉田真司

昨日 24 日、オンラインで全国壮年大会が行われました。今大会の主題は「わたしたちの心は燃えていたではないか～臨在の主に、心燃やされて～」でした。開会礼拝に続けて連盟理事長としてご挨拶した内容から、以下抜粋します。

「今、私たち日本バプテスト連盟が抱える伝道者不足の課題は大変深刻であると思います。現在、全国の 316 教会・伝道所のうち、専任牧師不在教会・伝道所数は 45 (39 教会・6 伝道所) に及びます。

その『伝道者不足』という課題の前に『献身者不足』の課題があり、その前には『それぞれの教会の人材不足』の課題があります。そういう悪循環をどうやって好循環に転じていけるのか、その答えはもう自明ですね。教会が人材を育て、輩出することです。このことは皆が知っています。でもそれこそ教会現場が厳しくて、それぞれの教会がもがいています。『鶏が先か卵が先か』という議論で『やっぱり教会から』とばかり言っていては・・・という現実があります。

その現実に必要な感化を与え、変化を及ぼすのは、神学校の働きが大きいと思います。またそれぞれの神学校から送り出される伝道者の影響は大きいと思います。教会を活性化すべく、信徒リーダーの養成を展望し、そのことを大目的とする神学校の学びを積み重ね、そしてその学びから更なる学びへ、つまり直接伝道者への献身が起こされる、その好循環へのあらためての祈りを強めたいと思います。

そしてその祈りは、今般の伝道者養成の基本理念とアクションプランの方向性だと思います。西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校と複数与えられている神学校の恵みをあらためて感謝し、それぞれの特徴を生かした、また協働のわざの中で、連盟諸教会が大いに感化され、燃やされ、励まし合って、共に協力伝道に励んでまいりたく願っております。幸い、この度の形態のように、物理的関係を越えて、全国でつながりあうことが出来る時代でありますから、その時代の恵みも大いに用い合っていけたらと思います。」

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>